

福岡市サッカー協会

【設立年月日】

1972（昭47）年

【加盟年月日】

1968（昭43）年

【歴代会長】

初代 梶山 彦三郎

第2代 下大迫 三徳

第3代 篠崎 俊一

第4代 千葉 信夫

【歴代理事長】

初代 下大迫 三徳

第2代 平野 善次

第3代 猪口志 昇

第4代 小柳 稔

第5代 波多江 貴志

【沿革】

福岡市サッカー協会は、1972（昭和47）年に発足しました。それ以前は、福岡県蹴球協会（現福岡県サッカー協会）の福岡支部として、福岡市周辺市町村を包含した組織で活動していましたが、福岡市体育協会「創立10周年記念行事」の中で「市民スポーツ人口の拡大」が提言されたことを受け、設立に向けた準備をし、「福岡市サッカー協会」が誕生しました。ただし、福岡市体育協会への加盟は、協会設立より一足早く、1968（昭和43）年に「福岡県蹴球協会福岡市支部」の名称にて申請を行い、同年に加盟が認められています。

発足時は17チーム（社会人11チーム、大学6チーム）が加盟しましたが、行政や福岡県サッカー協会などとの関係を密にし、組織の整備や試合運営の円滑化を図るとともに、少年の育成や女子サッカーの普及、各年代の拡充などを推進し、近年では加盟チーム数は増加の一途をたどっています。

【福岡市サッカー協会関連の歩み】

1921（大正10）年 日本サッカー協会設立

1947（昭和22）年 福岡県サッカー協会設立

1972（昭和47）年 福岡市サッカー協会設立

第1回市長杯争奪福岡市民サッカー大会開催

2014（平成26）年 東福岡高等学校サッカー一部

第49回全国総体サッカー大会 優勝

2015（平成27）年 東福岡高等学校サッカー一部

高校総体・高校選手権大会の2冠

【現在の活動】

少年サッカーの育成を協会の最重要課題として、大会や教室の開催や指導者講習会などに長年取り組んでいます。全国大会、九州大会、福岡県新人戦、全日本フットサル大会の福岡市予選や福岡市長杯少年大会などのほか、「指導者講習会」「アビスパ福岡サッカー教室」など、多岐にわたり開催しています。

ジュニアでは「8人制サッカー」が導入されて約10年が経ち、普及拡大され選手の出場機会が増加しました。

中学では、各区選抜対抗戦を強化事業とし、そこから福岡市選抜選手を25名程度毎年選出しています。きめ細やかな指導を行い、他地区や韓国のチームとの交流も進み、プロの選手も輩出しています。

高校では、韓国釜山廣域市との交流事業として、選抜チーム同士の対戦を行っています。



（2018年に行った交流大会）